

南関防衛



南関東防衛局
広報誌

令和3年
29号



山梨県富士吉田市(写真提供)・残雪の富士山山頂を望む

CONTENTS

- 2 掃海艦「えたじま」引渡式及び自衛艦旗授与式
- 3 護衛艦「はぐろ」引渡式及び自衛艦旗授与式
- 4 新型コロナウイルス感染症に係る災害派遣表彰式
- 5 新規採用者の紹介(令和3年度)
- 6 南関東防衛局新幹部紹介(令和3年4月1日付着任)
- 7 事務所だより(吉田防衛事務所)～北富士演習場火入れ～
- 8 お知らせ～在日米軍従業員募集～



掃海艦「えたじま」引渡式及び自衛艦旗授与式

令和3年3月16日（火）、ジャパン マリンユナイテッド株式会社横浜事業所鶴見工場において、南関東防衛局が建造の監督・検査を行ってきた掃海艦「えたじま」※1の引渡式・自衛艦旗授与式※2が行われました。

式典には、防衛省から代表として大西防衛政務官のほか、山村海上幕僚長、三島防衛技監、酒井横須賀地方総監、南関東防衛局からは小波局長が出席しました。



引渡式：大西防衛政務官（写真左）

掃海艦「えたじま」は、海上自衛隊最新の掃海艦（MSO）であり、「あわじ」型3番艦です。「あわじ」型は船体にFRP（繊維強化プラスチック）を採用しており、長寿命化が図られています。

平成30年2月に起工、令和元年12月に進水、令和3年3月に就役し、海上自衛隊に配備されました。



自衛艦旗掲揚



掃海艦「えたじま」出港

※1 掃海艦「えたじま」は、「あわじ」型掃海艦の3番艦であり、全長67m、基準排水量690トンの掃海艦艇です。

「えたじま」は「江田島」と書き、広島県江田島市に位置する「江田島」に由来します。

※2 「引渡式・自衛艦旗授与式」とは、造船所において建造された艦艇が、防衛省に引き渡され、艦艇の所有が移転したことにより、艦（艇）尾に自衛艦旗を掲揚するものです。

就役する艦艇は、艦（艇）尾に自衛艦旗を掲揚した時点で、自衛艦として海上自衛隊の編成に加えられると同時に、国際法上の軍艦として扱われることとなります。

護衛艦「はぐろ」引渡式及び自衛艦旗授与式

令和3年3月19日（金）、ジャパン マリンユナイテッド株式会社横浜事業所磯子工場において、南関東防衛局が建造の監督・検査を行ってきた護衛艦「はぐろ」※¹の引渡式・自衛艦旗授与式※²が行われました。

式典には、防衛省から代表として岸防衛大臣のほか、山村海上幕僚長、武田防衛装備庁長官、酒井横須賀地方総監、南関東防衛局からは小波局長が出席しました。



写真：岸防衛大臣

護衛艦「はぐろ」は、海上自衛隊最新のイージス艦（DDG）であり、「まや」型護衛艦の2番艦です。「まや」型は海自艦として初めて、日米共同開発の改良型迎撃ミサイルSM3ブロック2Aを撃つことができ、弾道ミサイル対処能力が向上しています。

平成30年1月に起工、令和元年7月に進水、令和3年3月に就役し、海上自衛隊に配備されました。



自衛艦旗授与



護衛艦「はぐろ」出港

※1 護衛艦「はぐろ」は、「まや」型護衛艦の2番艦であり、全長170m、基準排水量8,200トンのイージス艦です。

「はぐろ」は「羽黒」と書き、山形県鶴岡市に位置する標高414mの「羽黒山」に由来します。

※2 「引渡式・自衛艦旗授与式」とは、造船所において建造された艦艇が、防衛省に引き渡され、艦艇の所有が移転したことにより、艦（艇）尾に自衛艦旗を掲揚するものです。

就役する艦艇は、艦（艇）尾に自衛艦旗を掲揚した時点で、自衛艦として海上自衛隊の編成に加えられると同時に、国際法上の軍艦として扱われることとなります。

新型コロナウイルス感染症に係る災害派遣表彰式 ～統合幕僚長より第2級賞詞を授与～

令和3年3月12日、統合幕僚監部で新型コロナウイルス感染症に係る災害派遣における表彰式が行われ、南関東防衛局企画部地方調整課松井調整官（現：大臣官房文書課公文書監理室部員）に第2級賞詞が授与されました。

この表彰は、令和2年2月以降新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための災害派遣において政府の現地対策本部兼ねて防衛省の統合現地調整所連絡員として卓越した知識を最大限に発揮し旺盛な責任感をもって積極的に職務を遂行したとして松井調整官を称えたものです。

特に自衛隊発足以来前例のない感染症のリスクが不透明かつ精神的ストレスの高い状況の中、困難かつ危険な活動における現地対策本部の連絡員としてクルーズ船船長及び関係機関との調整などを整齊と実施し、自衛隊の高い即応態勢及び災害対処能力を示し、防衛省・自衛隊に対する国内外の評価向上に多大に貢献したと評価されました。



賞詞の手交
(左：山崎統合幕僚長、右：松井調整官)

防衛省・自衛隊は、感染者が確認されたクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス号」（横浜港大黒ふ頭）において医療支援、下船者の輸送支援などを実施しました。具体的には、PCR検査のため船内において自衛隊医官などにより、延べ約2200検体の採取を行い、また、陽性者などの患者や乗員・乗客の下船者約2000名を自衛隊救急車や大型バスにより搬送しており、このうち各国政府、（米、オーストラリア、カナダなど）が準備したチャーター機に搭乗する乗員・乗客などの帰国者延べ約1300名の羽田空港への輸送などを実施しました。

なお、「ダイヤモンド・プリンセス号」における活動は、巨大で複雑な客船上での前例のないオペレーションであるとともに、感染リスクの高い活動であったものの、本活動に従事した防衛省・自衛隊の現地活動人員延べ約2700名の隊員のうち感染者はゼロでした。



乗員・乗客の輸送支援

新規採用者の紹介（令和3年度）

令和3年4月1日（木）、横浜第2合同庁舎共用会議室で、令和3年度新規採用者等22名の辞令交付が行われました。

新規採用者は、4月12～13日、19～20日の4日間にわたり初任者研修を受講して、現在はそれぞれの配置先の部署で勤務しています。

まだ勤務日は浅いですが、この22名は、これからの当省・当局を支えていくこととなる若者達です。どうぞよろしくお願ひします。

総務部



高柳翔
（総務課）



瀧田ひかる
（会計課）

企画部



春有紗
（地方調整課）



三浦未来
（住宅防音第1課）



田土穂高
（住宅防音第1課）



荒川秀樹
（住宅防音第2課）

調達部



小磯容杜
（調達計画課）



扇田芳雄
（建築課）



大塚海斗
（建築課）



渡辺大地
（土木課）



崎田寛隆
（土木課）



松尾怜奈
（土木課）



奥田哲也
（設備課）



井手優心
（設備課）



奥村光太
（設備課）



川口愛加
（設備課）



二宮果絃
（設備課）

管理部



金子咲蘭
（業務課）



猪俣公裕
（施設管理課）

防衛事務所



藤原直紀
（横須賀）



三瓶大地
（吉田）



柳澤孝樹
（富士）

南関東防衛局 新幹部紹介（令和3年4月1日付着任）



総務部長
諏訪 匡志

4月1日付けで総務部長を拝命した諏訪です。
南関東防衛局の勤務は5年ぶり4回目となりますが、これから担う職責の重さに身の引き締まる思いであります。
南関東防衛局の管内には、多くの重要な防衛施設が所在しておりますが、地域の皆様方と防衛省の架け橋となれるよう信頼関係を大切にし、防衛行政に対するご理解が得られるよう努力して参りますので、よろしくお願いいたします。



管理部長
本田 和俊

4月1日付けで管理部長を拝命しました本田です。
南関東防衛局勤務は初めてですが、管理部が所掌する自衛隊及び在日米軍が使用する土地等の取得・管理、自衛隊等の運用から生ずる損失の補償、並びに在日米軍から返還された施設の所有者への返還手続きなどの業務は、関係自治体や地域住民の皆様のご理解とご協力が不可欠でありますので、皆様との信頼関係を築きながら、防衛施設の安定的使用ができるよう業務に取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。



労務管理官
坂口 達生

4月1日付けで労務管理官に着任した坂口です。
当局管内では、横須賀海軍施設、キャンプ座間、厚木海軍飛行場等の在日米軍の主要施設において1万人近くの駐留軍等労働者が勤務しています。様々な職種・職域で在日米軍を支える駐留軍等労働者の存在は、我が国の安全保障はもとより極東の平和と安全に寄与する在日米軍の活動に不可欠で重要な役割を担っていることはいまでもありません。労務管理官の職責として、駐留軍等労働者が安心して職務に邁進できるよう勤務環境の整備向上に取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。



企画部次長
松田 安広

4月1日付けで企画部次長を拝命しました松田です。
南関東防衛局は初めての勤務になります。横浜の伝統や文化、街並みのすばらしさを感じている日々です。
企画部は、自衛隊及び米軍施設に起因する様々な課題に際しての関係自治体等との連絡・調整や防衛施設と周辺地域との調和を図るための諸施策を行っております。
これら取り組みは、関係自治体をはじめ周辺地域からのご意見ご要望に耳を傾け、信頼関係を構築し、理解と協力を得ることが大変重要であります。そのことを念頭に職務に取り組んでまいりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

事務所だより（吉田防衛事務所）～北富士演習場火入れ～

富士北麓（ほくろく）の春の訪れを告げる恒例行事である、北富士演習場内国有入会地の「火入れ」と呼ばれる「野焼き」が令和3年4月4日（日）に行われました。

昨年度に続き、新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴い、恩賜林組合と旧十一ヶ村入会組合の役員ら約700名に縮小して実施されました。

この火入れは、昭和40年代前半から行われており、北富士演習場内において、野草、ワラビ、山ウドなどの山野菜の収穫を生業とする組合関係入会住民が、旧来から有する入会慣習に基づいて、草木が芽吹く前にススキなどの枯草を燃やし、害虫駆除も兼ねて、林野特産物の育成・増産等を目的として毎年春先に実施しており、北麓地域「春来」の風物詩となっています。



下草に点火する恩賜林組合長

火入れ作業は、午前9時、花火の合図とともに、たいまつを持った組合員が一斉に点火し、富士五湖消防本部、地元消防団のほか陸上自衛隊の協力の下、周辺への延焼等の事故もなく、約1900ヘクタールの野焼きが無事に終了しました。



大和ヶ原地区の様子



梨ヶ原地区の様子

★★ 在日米軍従業員募集 ★★

日本の「アメリカ」で働きませんか!

「エルモ」が応援!あなたの就活!

♪ NEWS ♪

★★ Twitter 開設しました ★★

令和3年4月より、求人情報等の募集関連情報を定期的に発信いたします。ぜひ、フォローをお願いします。

アカウント名

「在日米軍従業員求人情報 (エルモ)」



南関東防衛局では、横須賀海軍施設、キャンプ座間、厚木海軍飛行場等の在日米軍施設に勤務する従業員を雇用し、在日米軍にその労働力を提供する業務を行っており、募集業務に関しては独立行政法人駐留軍等労働者労務管理機構（エルモ）が実施しております。米軍基地での勤務に興味のある方は、エルモホームページ又は下記の支部にお問い合わせください。

窓口応募受付・お問い合わせ先

▶ エルモ横須賀支部

- ◆ 住 所：神奈川県横須賀市米が浜通一丁目6番地 村瀬ビル ◆ 電 話：046-828-6959
- ◆ 担当施設：横須賀海軍施設、横浜ノースドック、池子住宅地区、鶴見貯油施設等

▶ エルモ座間支部

- ◆ 住 所：神奈川県座間市相武台一丁目4番1号 ◆ 電 話：046-251-0667
- ◆ 担当施設：キャンプ座間、厚木海軍飛行場、相模総合補給廠、相模原住宅地区、キャンプ富士

エルモHP <https://www.lmo.go.jp>
下記求人情報QRコード参照



求人情報提供メールサービスに登録すると、希望する求人情報がホームページに掲載される都度、お知らせメールが送信されますのでご利用ください。